

# 競 技 注 意 事 項

## 1. 競技全般について

本大会は、2022年度日本陸上競技連盟競技規則・同駅伝競走基準並びに本大会規定に基づき実施する。

## 2. 出場競技者について

各区分走者の正式オーダーは、参加申込みオーダーより大会当日受付時に所定の用紙で提出すること。  
(オーダー用紙提出後の変更は一切認めない)

## 3. 競技について

- (1) 競技者は、特設されたコース内を走らなければならない。
- (2) 引継ぎには、主催者が準備したタスキを用いる。タスキは第1区分走者の招集時に渡す。タスキは、中継時を除き、肩から斜めわき下へかけて走らなければならない。
- (3) 中継所でのタスキの受渡しは、中継線前方20m以内とする。
- (4) アスリートビブスは、1人に2枚を配付し競技服装の胸部と背部に着けること。
  - ①選手は、区間の枝番号が記入されたものを使用すること。
  - ②アスリートビブスは、「白色地に黒文字」を使用する。ただし、リレー最終走者に限り「白色地に赤文字」とする。
- (5) 競技に関する伴走者は一切これを認めない。
- (6) 第1区分走者の出発について
  - ①出発時のコース順は、トラック内側から小さな番号順とする。
  - ②1分前、30秒前、20秒前、10秒前をそれぞれアナウンスし、10秒前のアナウンスに続いて「On your marks」と呼び、ピストルの合図でスタートする。
- (7) 競技者が、途中で競技を続行することができない状態になった時、又は、競技を中止させられた場合は当該チームのその区間の競技を無効とする。ただし、当該チームは審判長の指示に従い次区分走者から再び競技を続行することができる。この場合、そのチーム全体の記録は認められないが、各区分間の記録は認められる。再スタートの時期は最終チーム通過後速やかに行う。
- (7) 選手の健康状態及び運営に市場をきたすと判断した場合は走行を中止させることがある。
- (8) 繰り上げスタートは行わない。ただし、審判長の判断により、チームの走者が中継点に到達する以前に次の区分走者を出発させることがある。
- (9) 競技中に大会要項や注意事項等に違反した為に生じた事故に関し、主催者側は一切責任を負わない。
- (10) クロスカントリー競技の靴底の厚さは25mm以内。本大会では、シューズの検査は行わない。

## 4. 競技者の招集時刻と場所について

- (1) 点呼の際は、胸部と背部にナンバーカードの付いた競技用上着を必ず着て集合すること。
- (2) 点呼完了時刻、場所は次のとおりとする。

時 刻	招集完了時刻	種 目
14時30分	14時15分	クロスカントリー・リレー 男子
14時30分	14時15分	クロスカントリー・リレー 女子
15時00分	14時45分	クロスカントリー・個人 男子
15時10分	14時55分	クロスカントリー・個人 女子

## 5. ウォーミングアップ等について

- (1) 選手のウォーミングアップは、競技役員の指示に従い安全に留意して行うこと。
- (2) アナウンスが聞こえない場所でのウォーミングアップは避けること。

## 6. 競技場使用について注意

- (1) 大会本部のある正面スタンド内には、大会役員及び競技役員以外の立ち入りを禁止する。
- (2) 女子の更衣は管理棟内更衣室を利用し、貴重品は各自で責任をもって管理すること。  
男子更衣室は準備しない。またシャワーは使用できない。

## 7. 記録の発表について

- (1) 記録の掲示は行わず、WEB上にて発表する。プログラム表紙等のQRコードによりURLを取得できる。

## 8. 新型コロナウイルス感染拡大防止に対する措置について

- (1) 北丹陸上競技協会新型コロナウイルス感染症予防対策マニュアルを遵守すること。
- (2) 選手は、フィジカルディスタンスを確保し、マスクを着用すること。
- (3) 第1区分走者はスタート付近に集合する際、それ以降の区分走者は中継所においてチーム番号を呼ばれ、中継線に移動する際にマスクを外しても良い。
- (4) タスキの受け渡しの際には、次走者による前走者への呼びかけ行為は行わないこと。

## 9. その他

- (1) 競技中の障害・疾病にかかる応急処置は主催者にて行うが、以後の責任は負わない。(傷害保険の範囲内にて対応とする)
- (2) 主催者は、競技会に関わるすべての人の感染に対するいかなる責任も負わない。